

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の治療効果予測因子の検討についての説明文書

臨床研究課題名：EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の有効性を評価する多施設共同前向き観察研究（Gio-Tag Japan）における附随研究

1. この研究を計画した背景

EGFR 遺伝子変異が原因で発症する進行非小細胞肺癌に対する化学療法は EGFR チロシンキナーゼ阻害剤（EGFR-TKI）を用いることが標準治療となっています。この EGFR-TKI には開発された順に、第 1 世代のゲフィチニブ（商品名：イレッサ[®]）、エルロチニブ（商品名：タルセバ[®]）、第 2 世代のアファチニブ（商品名：ジオトリフ[®]）、ダコミチニブ（商品名：ビジンプロ[®]）、第 3 世代のオシメルチニブ（商品名：タグリッソ[®]）があり、1 次治療には第 3 世代であるオシメルチニブが最も推奨されています。しかし、EGFR-TKI の治療戦略にはまだ十分な検討がなされていない部分があり、初回治療をアファチニブで開始し、耐性化後にオシメルチニブで行う治療を前向きに観察する研究が行われました（Gio-Tag Japan）。本研究は行うこの Gio-Tag Japan の附随研究で、Gio-Tag Japan において採取された検体を用いて追加の検討を行う研究です。

現在本邦においてアファチニブで一次治療を開始された場合には、耐性化後に再度組織の採取を行って新たに EGFR 遺伝子変異の二次変異として EGFR exon20 T790M 耐性遺伝子が陽性になった方のみオシメルチニブの治療を受けることができます。しかし一次治療開始前に、deep sequence という精密検査で T790M 耐性遺伝子変異が検出できる場合があり、これが一次治療でアファチニブを行った後に T790M 耐性遺伝子がでやすいかの予測を行うことができる可能性があるため、本研究が計画されました。

2. この研究の目的

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者に対して、1 次治療をアファチニブで開始した場合の T790M 耐性遺伝子変異の出現の予測ができる因子を探求することにあります。

なお、この研究は、西日本がん研究機構に加盟する多施設が共同で行う研究です。本院においては、以下研究者によって実施しています。

研究責任医師： 呼吸器・アレルギー内科 前野健

研究分担医師： 呼吸器・アレルギー内科 上村剛大、福田悟史

3. この研究の方法

2019年7月31日から2020年7月31日の間にEGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるアファチニブからオシメルチニブへの逐次投与の有効性を評価する多施設共同前向き観察研究（Gio-Tag Japan）に登録された121名のEGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者さんの中から、主研究で採取した検体の残余があり、主研究でデータ使用の拒否をされなかった患者さんが対象となります。

4. この研究により不利益を受けることはありません。

この臨床研究はすでに治療を行われた後の患者さんのデータを匿名化した上で使用させて頂くものであります。このため、あなたの治療方針に影響を与えるのではなく、不利益を受けることはありません。

5. あなたのプライバシーに係わる内容は保護されます。

研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがあります。しかし情報は匿名化した番号で管理されるため、得られたデータが報告書などでああなたのデータであると特定されることはありませんので、あなたのプライバシーに係わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。

6. 得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」を遵守し、各施設の規定に従ってCOIを管理しています。

7. この研究は必要な手続きを経て実施しています。

この研究は、公立大学法人 名古屋市立大学大学院 医学研究科長および名古屋市立大学病院長が設置する医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は臨床研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、実施することが承認されています。またこの委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下、ホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”

<http://ncu-cr.jp/patient>

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたご自身のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター

連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL(052)858-7215